Panasonic

パーソナルコンピューター
取扱説明書
品番 CF-R1シリーズ

2000 XP

本書以外のマニュアル

- H"IN サインアップマニュアル*1
- 操作マニュアル
  画面で見るマニュアルです。本機をより活用するための拡張方法などについて説明しています。見かたについては22ページを参照してください。
  もくじ
  使用上のお願い / キーの組み合わせによる操作 / 状態表示ランプ / ホイールパッドの操作 / スタンバイ・休止状態機能 / セキュリティ機能 / 省電力機能/バッテリーパック/CN-Stage/PC カード /SD メモリー / マルチメディアカード/RAMモジュール/外部ディスプレイ/USB機器/モデム/携帯電話・PHS電話*2/LAN機能/無線LAN機能*3/H" IN モジュール*1/ネットセレクター/セットアップユーティリティ / 技術情報 / DMI ビューアー / エラーコードが表示されたら / 困ったときの Q&A

*1 H"IN モジュール内蔵モデルのみ
*2 CF-R1R/CF-R1P シリーズのみ
*3 無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ

上手に使って上手に節電

もくじ

お使いになる前に

ページ

操作の方法

困ったときは

お使いになる前に

操作の方法

困ったときは

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

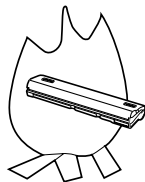
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

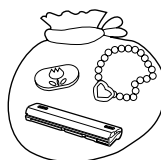
お使いになる前に

バッテリーパックに関する注意 ⚠危険

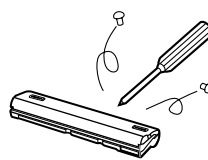
火中に投入したり加熱したりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

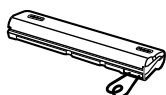
ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

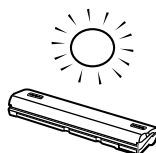
クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス(＋)とマイナス(－)を金属などで接触させない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-R1シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

電源プラグを抜く

•本体が破損した •本体内に異物が入った
•煙が出ている •異臭がする
•異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

● 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、ご相談窓口にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、ご相談窓口にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

本機を改造しない また、本書に記載のない方法で分解しない

分解禁止

⚠警告
高電圧に注意
本機を分解・改造しない

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

本機の上に水などの入った容器や金属物を置かない

禁止

水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

● 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、ご相談窓口にご相談ください。

<無線LANモジュール内蔵モデル/H"INモジュール内蔵モデルのみ>

心臓ペースメーカーの装着部位から 22 ㎝ 以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠警告

<無線LANモジュール内蔵モデル/H"INモジュール内蔵モデルのみ>

航空機内では電源を切る＊1

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る＊1**（手術室、集中治療室、CCU**＊2**等には持ち込まない）**

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

＊2 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る＊1

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

＊1 このような環境でコンピューター本体を使用したいとき

- 無線LANモジュール内蔵モデルの場合は、[コントロールパネル]（Windows XP：[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]）-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]-[ネットワークアダプタ]から、お使いのネットワークアダプター名を選び、「デバイスの使用状況」を「このデバイスを使わない（無効）」に設定して無線LAN機能を無効にしてください。（☞『操作マニュアル』「無線LAN機能」）
- H"INモジュール内蔵モデルの場合は、H"INモジュールスイッチをオフにしてください。（☞『操作マニュアル』「H"INモジュール」）

⚠注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

モデムは日本国内の一般電話回線で使用する

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いてご相談窓口にご相談ください。

電源コードはプラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど＊の原因になります。

＊ 低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

お使いになる前に

使用上のお願い

本取扱説明書の表記上の規則

Windows 2000	:Microsoft® Windows® 2000 Professionalについての説明です。
Windows XP	:Microsoft® Windows® XP Professionalについての説明です。
Enter	:キーボードのEnterキーを押します。
Fn + F5	:キーボードのFnキーを押しながら、F5キーを押します。
[スタート]-[検索]	:画面上の[スタート]をクリックした後、[検索]をクリックします。（内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。）
無線LANモジュール内蔵モデル	:無線LANモジュールを内蔵しているモデルのことです。
H"INモジュール内蔵モデル	:H"INモジュールを内蔵しているモデルのことです。
アプリケーション付きモデル	:Microsoft® Office XP Personalなどのアプリケーションソフトを付属しているモデルのことです。
☞『操作マニュアル』	:操作マニュアルは画面で見るマニュアルです。22ページに記載の方法で起動し、参照してください。

本書で使用している共通の画面は、Windows 2000の画面です。

- Administratorまたはコンピューターの管理者以外の権限でログオンした場合、実行できない機能があったり、画面の表示が本書と違ったりすることがあります。
  このような場合は、Administratorまたはコンピューターの管理者の権限でログオンして、操作してください。
- 別売りの商品については、最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、下記および次ページのことに注意してください。

コンピューターウィルス

最新のウィルスチェックプログラム(市販)を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
・コンピューターを起動したとき
・データを入手したとき
　フロッピーディスクなどの外部ディスクから、またネットワーク、インターネット、電子メールなどから入手したデータ(圧縮されている場合は､圧縮復元後のファイル)を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

周辺機器を使用する場合

コンピューター本体、周辺機器、ケーブル等の故障を防ぐため、次の点に注意してください。また、本書および操作マニュアルとあわせて、使用する周辺機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
・仕様に適合した周辺機器を使用する。
・コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
・接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向き等を確認する。
・固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
・ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

使用上のお願い

ハードディスクのデータ保護

● コンピューターに衝撃を与えない。
ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。
● Windows*やアプリケーションソフトの動作中およびハードディスクドライブ（ ）のランプが点灯中は、電源を切らない。
ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート]メニューから操作を終了してください。（☞20ページ）
● 磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。
ハードディスクに保存されていたデータが消失する恐れがあります。
● ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合(故障・不本意なデータ更新・消失など)に備えて定期的にバックアップをとる。
トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
● データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。（☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」「SD メモリー / マルチメディアカード」）

*正式名称 Windows 2000 ：Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemです。本書ではWindowsまたはWindows 2000と表記します。
Windows XP ：Microsoft® Windows® XP Professional operating systemです。本書ではWindowsまたはWindows XPと表記します。

ハードディスク保護＜企業・法人向けモデルのみ＞

ハードディスク保護を有効に設定すると、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際にハードディスクのデータを読み書きしようとしてもできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と全く同じ設定にしておいてください。（ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）

ハードディスク内のリカバリー用データ

● ハードディスク内のリカバリー用データは絶対に削除しないでください。
本機は、再インストール（コンピューターに何らかのトラブルが発生し正常に動作しなくなった場合などに行う）に必要なリカバリー用データをハードディスク内に格納しています。絶対に下記の操作を行わないでください。
＜CF-R1R/CF-R1Pシリーズの場合＞
このリカバリー用データは約3 Gバイトあり、「ディスクの管理」で「HDRECOVERY」のボリュームラベルのFAT32ファイルシステム（ Windows 2000 ）または休止パーティション（ Windows XP ）として見えます。この領域を削除したり、領域内のデータを削除・変更またはデータを追加したりすると再インストールができなくなります。万一、削除してしまった場合などはご相談窓口にご相談ください。
＜CF-R1Nシリーズの場合＞
このリカバリー用データは約3 Gバイトあります。誤って消去することを防ぐため、リカバリー用データがある領域は通常の方法では表示されないようになっていますが、特別な手段を講じて、この領域を削除したり、領域内のデータを削除・変更またはデータを追加したりすると再インストールができなくなります。万一、削除してしまった場合などはご相談窓口にご相談ください。
● リカバリー用データの領域を通常のドライブとして、使用することはできません。あらかじめご了承ください。
● ハードディスクリカバリーはダイナミックディスクには対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

ハードディスクのパーティション（区画）を変更する場合< CF-R1N シリーズのみ>

パーティションは 3 つまでにしてください。
4 番目のパーティションは、以下の操作を行うときに必要となりますので、作成しないでください。

- 再インストールを行うとき
  再インストール専用のパーティションとして一時的に 4 番目のパーティションを使用します。
  このため、4 番目のパーティションを作成し、データなどを保存した状態で再インストールを始めると、そのデータは削除されてしまいます。
- ＜アプリケーション付きモデルの場合＞
  Microsoft® Office XP Personalなど、付属のアプリケーションソフトをセットアップするとき、4番目のパーティションを使用してセットアップを行います。このため、4 番目のパーティションがすでに作成されていると、セットアップすることができません。

無線 LAN について＜無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ＞

- 無線 LAN で使用できるチャンネル
  本機では、1〜11チャンネルを使用します。使用するチャンネル*を確認してください。
  アクセスポイントの中には、工場出荷時の設定として、無線LANが使用するチャンネルを12〜14チャンネルのいずれかとしているものがあります。お買い上げのアクセスポイント（別売り）に付属の説明書をご覧になり、無線チャンネルを1〜11チャンネルのいずれかに設定してください。
  * ワイヤレス通信においては、使用する周波数帯域を分割し、それぞれの帯域によって異なる通信を行うことができます。チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。
- 無線 LAN によるデータの盗聴：ハードディスク内への侵入防止のために
  ・お買い上げ時の状態では無線LANにセキュリティ機能が設定されていません。ネットワークを経由して、ハードディスク内のデータを盗聴されたり、共有しているファイルなどにアクセスされるおそれがあります。
  ・無線 LAN 機能をお使いになる際は、セキュリティのため、データの暗号化などを設定してお使いいただくことをおすすめします。

本機を廃棄または譲渡する場合

本機を廃棄または譲渡する場合、ハードディスク内のデータの流失を防止するため、ハードディスク内のデータを完全に消去してください。Windowsの通常の操作でデータを削除したりハードディスクを初期化しても、特殊なソフトウェアを使ってデータを読み取ることが可能です。データの完全消去は、専用のソフトウェア（別売り）＜CF-R1R/CF-R1Pシリーズの場合＞、付属の「ハードディスクデータ消去ユーティリティ」（☞ 36ページ）＜CF-R1Nシリーズの場合＞を使用するか、専門業者に依頼（有償）して行ってください。
また、ハードディスク内にお客様がインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

はじめて使うとき

お買い上げ後、はじめて Windows の操作を始めるまでの操作手順を説明します。

1 付属品を確認する

付属の『ご使用の前に』で確認してください。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、ご相談窓口にお確かめください。

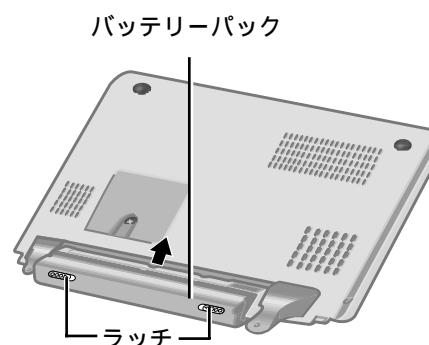
2 ソフトウェア使用許諾書(☞ 35ページ)に同意する

コンピューター本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を必ず確認してください。

3 本体を裏返し、バッテリーパックを取り付ける

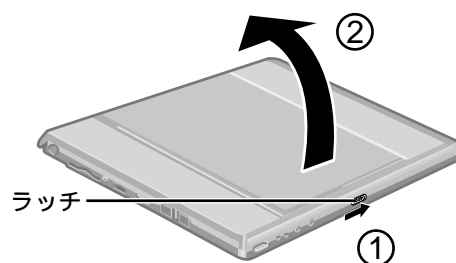
バッテリーパックの向きに注意して、矢印の方向にスライドさせて取り付け、左右のラッチで固定されていることを確認してください。

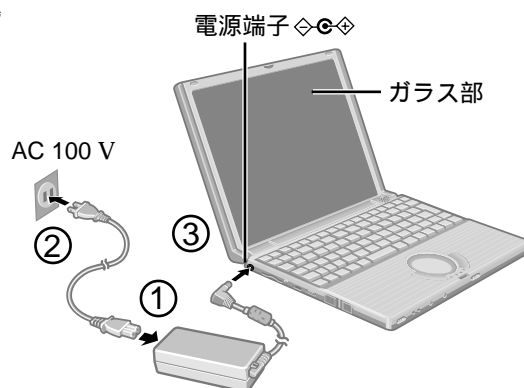
お願い

- コネクターに確実に取り付けてください。
- バッテリーパックおよびコンピューターのコネクター部に触れないようにしてください。コネクターが汚れたり損傷したりすると、接触が悪くなったり、十分に充電できなかったりすることがあります。また、コンピューターが正しく動作しないことがあります。
- ご使用にあたってバッテリーパックについての安全上のご注意（☞ 2ページ）をよくお読みください。

4 ディスプレイを開ける

①ラッチを矢印の方向にスライドする。
②ディスプレイを開ける。

お願い

- ディスプレイを必要以上（150º 以上）に開けないでください。
- ディスプレイのガラス部に必要以上の力を加えないでください。また、ガラス部を持って開閉しないでください。

5 ACアダプターを接続する

- ACアダプターは、手順7（☞ 9ページ）が完了するまで、必ず接続しておいてください。
  ACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。
  充電にかかる時間：約3時間
  （コンピューターの動作状態により異なります。）
- はじめて使うときは、本体にバッテリーパックと AC アダプター以外の周辺機器は接続しないでください。

⚠注意

必ず指定の AC アダプターを使用する

指定以外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

6 電源を入れる

電源スイッチを約1秒間スライドしたままにし、電源表示ランプが点灯したことを確認してから手を離します。

お願い
- 電源スイッチを4秒以上スライドしたままにしないでください。4秒以上スライドし続けると電源が切れます。
- 電源スイッチを連続してスライドしないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。

7 Windowsをセットアップする

カーソル( )の移動やボタンなどの選択（クリック）には、ホイールパッドを使います。（☞ 21ページ）

お願い

Windowsのセットアップを行う前に、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。アプリケーションソフトが正しく動作しない場合があります。

Windows 2000

お願い

「Windows 2000セットアップ ウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、ホイールパッドに触れたりしないでください。

①「Windows 2000セットアップウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
②「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③「地域」画面で正しい地域を設定して、[次へ]を選ぶ。（工場出荷時は日本に設定されています。）
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]を選ぶ。（組織名は省略可能）
⑤「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面でコンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]を選ぶ。

お願い
- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。
- ここでは、パスワードを省略し、後で設定することもできます。後で設定する場合は、Windows起動後、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]で行ってください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻を設定して[次へ]を選ぶ。
Windowsのセットアップ終了後、変更することもできます。その場合は、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[日付と時刻]で行ってください。
⑦「ネットワークの設定」画面で[標準設定]を選び、[次へ]を選ぶ。
設定内容は一例です。お使いのネットワークシステムにより設定が異なります。詳しくは、接続サービス会社(プロバイダー)または会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
⑧「ワークグループまたはドメイン名」画面で「このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している」を選び、[次へ]を選ぶ。
コンピューターが自動的に再起動します。
⑨「ネットワーク識別ウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
⑩「このコンピュータのユーザー」画面で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選び、[次へ]を選ぶ。
⑪「ネットワーク識別ウィザードの終了」画面で[完了]を選ぶ。
⑫手順⑤でパスワードを設定した場合、そのパスワードを入力して[OK]を選ぶ。

はじめて使うとき

Windows XP

お願い

「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、ホイールパッドに触れたりしないでください。

①「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
②「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③「地域と言語のオプション」画面で正しい地域を設定して、[次へ]を選ぶ。（工場出荷時は日本に設定されています。）
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]を選ぶ。（組織名は省略可能）
⑤「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面で、コンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]を選ぶ。（パスワードは省略可能）

お願い

- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。（☞ 11 ページ）
- ここでは、パスワードを省略し、後で設定することもできます。後で設定する場合は、Windows起動後、[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で行ってください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻を設定して[次へ]を選ぶ。
Windowsのセットアップ終了後、変更することもできます。その場合は、[スタート]-[コントロールパネル]-[日付、時刻、地域と言語のオプション]-[日付と時刻]で行ってください。
⑦「ネットワークの設定」画面で[標準設定]を選び、[次へ]を選ぶ。
設定内容は一例です。お使いのネットワークシステムにより設定が異なります。詳しくは、接続サービス会社(プロバイダー)または会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
⑧「ワークグループまたはドメイン名」画面で「このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している。」を選び、[次へ]を選ぶ。
コンピューターが自動的に再起動します。
⑨手順⑤でパスワードを設定した場合、そのパスワードを入力して→を選ぶ。

お知らせ

Windows XP

ユーザーアカウントを作成する場合は、メールの設定など各種操作を行う前にアカウントを作成することをおすすめします。アカウントを作成すると、それまでのメールの履歴や設定内容が使用できなくなります。

Windows XP について Windows XP

Windowsの設定、インストールしているアプリケーションソフトやドライバーによって、Windowsのメニューや表示が本書と異なったり、一部の機能（パスワードリセット機能など）が動作しない場合があります。

ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する

[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]-[ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する]で「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている場合と付けていない場合では、起動時および終了時の操作が以下のように異なります。

「ようこそ画面を使用する」の設定	起動時の操作	終了時の操作
チェックマークを付けている場合	ユーザーの名前のリストが表示され、ログオンしたいユーザー名を選ぶ。	[スタート]-[終了オプション]-[電源を切る]を選ぶ。
チェックマークを付けていない場合	ユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選ぶ。	[スタート]-[シャットダウン]-[シャットダウン]を選び、[OK]を選ぶ。

（SDカード設定で「Windowsのログオン時に使用する」を選んでいる場合は、ようこそ画面は使用できません。）

● 「ユーザーの簡易切り替えを使用する」
この設定にチェックマークを付けていると、複数のユーザーがコンピューターを使用している場合、ログオンし直さずに別のユーザーに切り替えることができます。「ようこそ画面を表示する」にチェックマークを付けていない場合やネットワークのドメインに参加している場合などは、この機能は使えません。また、アプリケーションソフトによっては、この機能を使うとコンピューターが正しく動作しない場合があります。
本書では、チェックマークを付けている場合の手順で説明します。

パスワードリセット機能について

Windowsのログオンパスワードを忘れてしまったときのために、現在のパスワードを解除して新しくパスワードを設定するパスワードリセット機能があります。この機能を使うには、以下の手順に従って、あらかじめパスワードリセットディスクを作成しておいてください。

1 別売りのUSBフロッピーディスクドライブ（☞ 『ご使用の前に』）を本機に接続する。
2 [スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]を選び、「変更するアカウントを選びます」の中からログオンしているアカウントを選ぶ。
3 [関連した作業]の「パスワードを忘れないようにする」を選ぶ。
以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成し、大切に保管してください。
・ パスワードリセットディスクで解除できるのは、各アカウントのログオンパスワードのみです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。

回復コンソールについて

回復コンソールをインストールしておくと、Windows XPが起動しなくなった場合などに、コマンドプロンプトを利用してCHKDSKなどが実行できます。
以下の手順でインストールしてください。起動時にスタートアップオプションメニューとして、回復コンソールが選択できるようになります。

1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選ぶ。
2 「c:\Windows\i386\winnt32.exe /cmdcons」と入力して[OK]を選ぶ。
画面の指示に従って操作してください。

＜CF-R1R/CF-R1Pシリーズのみ＞

3 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選び、「c:\util\msupdate\q308402\q308402_wxp_sp1_x86_jpn.exe」と入力して[OK]を選ぶ。
画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

回復コンソールの概要については、「ヘルプとサポートセンター」を参照してください。
1 [スタート]-[ヘルプとサポート]を選ぶ。
2 [検索]に「回復コンソール」と入力し、→を選ぶ。

はじめて使うとき

新しくユーザーアカウントを作成する場合

最初に追加するユーザーアカウントは「コンピューターの管理者」のアカウントでなければなりません。
制限ユーザー（制限付きアカウントのユーザー）のユーザーアカウントを作成する場合は、まず最初に「コンピューターの管理者」のアカウントを作成してください。以降、制限ユーザーのユーザーアカウントが作成できるようになります。
また、「ようこそ」画面には追加したユーザーアカウントのみが表示され、「Administrator**」のアカウントは表示されません。**

アプリケーション付きモデルの場合

アプリケーション：

- Microsoft® Office XP Personal**または**Microsoft® Office XP Professional
- Microsoft® Encarta® **百科事典** 2002 Basic
- **＜**CF-R1P**シリーズのみ＞**
  Microsoft® Outlook® Plus!
  ＜CF-R1N**シリーズの** Microsoft® Office XP Personal **モデルのみ＞**
  Microsoft® Outlook® Plus! Version 2.0

これらのアプリケーションは「コンピューターの管理者」のアカウントでログオンした後、画面上の を選んで、セットアップ（インストール）することができます。自動的に設定や再起動が行われますので、そのまましばらくお待ちください。

お知らせ

- **セットアップには、約**30**分かかります。必ず**AC**アダプターを接続してセットアップを実行してください。**
- **画面上の を選んでセットアップしたとき、フォーマットされていない区画があるとエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、区画をフォーマットした後、再度セットアップしてください。**
- **画面上の を選んでセットアップできるのは**1**回のみです。**
  - Microsoft® Office XP Personal**または**Microsoft® Office XP Professional、Microsoft® Encarta® **百科事典** 2002 Basic**をインストールし直す場合および機能追加を行う場合は、付属の**CD**をお使いください。（この場合、別売りの**CD**ドライブが必要となります。）**

  ＜CF-R1P**シリーズのみ＞**
  - Microsoft® Outlook® Plus!**をインストールし直す場合は、**34**ページをご覧ください。**

  ＜CF-R1N**シリーズの**Microsoft® Office XP Personal**モデルのみ＞**
  - Microsoft® Outlook® Plus! 2.0**をインストールし直す場合は、付属の**CD**をお使いください。（この場合、別売りの**CD**ドライブが必要となります。）**
- **セットアップ中、数回再起動します。必ず、セットアップを実行したユーザー名でログオンしてください。その際、ユーザーの簡易切り替え機能は使用しないでください。**
  また、セットアップ中に[キャンセル]を選んだり、Windows**を強制終了させたりしないでください。**
- Microsoft® Office XP Personal**または**Microsoft® Office XP Professional**を初めて起動したとき、使用許諾の画面が表示されます。必ずコンピューターの管理者の権限でログオンしていることを確認して、同意してください。コンピューターの管理者以外の権限でログオンして同意すると、次回**Microsoft® Office XP Personal**または**Microsoft® Office XP Professional**を起動したとき、再度、使用許諾の画面が表示されます。**

● **各ソフトウェアの操作方法について**
付属のソフトウェアパッケージ内の説明書をご覧ください。

＜CF-R1P/CF-R1N**シリーズのみ**＞

● **アンインストールする場合**
最初にMicrosoft® Outlook® Plus!**ツールをアンインストールし、次に**Microsoft® Office XP Personal**または**Microsoft® Office XP Professional**をアンインストールしてください。**

Microsoft® Office XP Personal**または**Microsoft® Office XP Professional**を先にアンインストールすると、**Microsoft® Outlook® Plus!**ツールがアンインストールできなくなります。（**☞29**ページ****）**

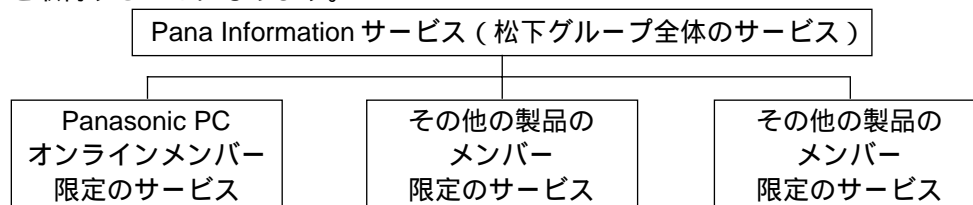
● Microsoft® Outlook® Plus!**のケータイ**Plus!**機能**
＜CF-R1P**シリーズの場合＞**
Microsoft® Outlook® Plus!**のケータイ**Plus!**は、ワイヤレスコムポートには対応していません。この機能をお使いになる場合は、専用の**USB**ケーブルが必要です。**
詳しくは、Microsoft® Outlook®**を起動し、**[Plus!]-[Plus! **使い方ガイド**]**をご覧ください。**
＜CF-R1N**シリーズの場合＞**
Microsoft® Outlook® Plus! Version 2.0**のケータイ**Plus!**機能をお使いになる場合は、専用の**USB**ケーブル*****が必要です。**
詳しくは、Microsoft® Outlook®**を起動し、**[Plus!]-[**【基本レッスン】**Outlook Plus!**の使い方**]**をご覧ください。**
* **対応している携帯電話や**USB**ケーブルについては、マイクロソフト社のホームページでご確認ください。**

オンラインメンバー登録をする

＜個人向けモデル（画面に アイコンがあるモデル）のみ＞

Panasonic PC オンラインメンバーに登録すると、インターネットや電子メールを利用して、情報の提供や技術的なサポートを受けることができます。
また、松下グループ全体のサービスを提供する「Pana Information サービス」にも自動的に登録され、「Pana Information ID」を取得することになります。

Pana Information サービス（松下グループ全体のサービス）

- Panasonic PC オンラインメンバー限定のサービス
- その他の製品のメンバー限定のサービス
- その他の製品のメンバー限定のサービス

お知らせ

- 「Pana Information ID」は、松下グループ全体に共通のものです。1回取得すると、今後、他の製品のメンバー登録の際にこのIDを使用できます。
- Panasonic PCのオンラインメンバー登録を行わなくても、製品の保証とアフターサービスは受けることができます。

お願い

Panasonic PCのオンラインメンバーに登録するには電子メールアドレスが必要です。
電子メールアドレスをお持ちでない場合は、プロバイダーに入会してメールアドレスを取得した後、Panasonic PCオンラインメンバー登録をしてください。
プロバイダーhi-hoへの入会をお勧めします。（☞17ページ）

登録のしくみ

コンピューターを各種回線（電話回線や LAN など）につないだ後、「Panasonic PC オンラインメンバー登録」ソフトを使って、画面上で登録操作を行います。

電話回線（フリーダイヤルなので操作中の電話料金は無料）
または、LAN を使って接続

Panasonic PC
オンラインメンバー登録
受付センター

お知らせ

携帯電話、PHS電話を使ってオンラインメンバー登録をする場合は、Panasonic PCオンラインのホームページ（http://www.pc.panasonic.co.jp/pc/）から行ってください。
この場合、通信料金はお客様のご負担となります。

1 コンピューターを回線に接続する(☞『操作マニュアル』「モデム」「LAN機能」)

お願い

Internet Explorerを起動している場合は終了してください。Internet Explorerを起動していると、オンラインメンバー登録が正常に行えない場合があります。

2 画面の アイコンをダブルクリックする

お知らせ

- Panasonic PCオンラインメンバー登録は、1台のコンピューターに対してコンピューターの管理者のユーザーが1回だけ行うことができます。
- すでにPana Information IDを持っている場合、これ以降の操作手順が異なります。17ページの手順に従ってください。

3 [Pana Information IDをお持ちでない方]を選ぶ

4 [メールアドレスをお持ちの方]を選ぶ

オンラインメンバー登録にはメールアドレスが必要です。メールアドレスをお持ちでない場合は、そのまま終了し、後日メールアドレスを取得してから登録を行ってください。

5 接続方法を選ぶ

- 内蔵モデムやターミナルアダプターを使ってインターネットに接続する場合は「モデムを使ってインターネット接続する方」を選びます。
- ADSLのサービスやケーブルテレビ回線などLANを使って接続している場合は、「LANを使ってインターネット接続している方」を選びます。

6 特典などについての説明を読み、[次へ]を選ぶ

7 それぞれの規約を最後まで読み、「同意する」を選び、[次へ]を選ぶ

8 [次へ]を選ぶ

オンラインメンバー登録をする

9 登録する情報を入力する

入力する画面は全部で6画面あります。それぞれの画面で情報を入力して[次へ]を選び、最後の画面まで進んでください。

お知らせ

- ひとつ前の画面に戻るには、画面左上の[戻る]を選びます。
- 入力のしかた
  - 「ご住所」
    住所1〜住所3を使って、マンション名、部屋番号まで正しく入力してください。
  - 「機種品番」「製造番号」
    保証書、コンピューター底面などでご確認ください。
  - 「パスワード」
    Panasonic Informationおよびオンラインメンバー登録のサービスを利用していただくためのパスワードです。半角8文字の英数字でパスワードを入力してください。大文字と小文字は区別されます。
- 再入力画面が表示されたら、画面の指示に従って入力情報を修正し、再度[確認]を選んでください。

10 入力情報を確認し、[確認]を選ぶ

のついた入力情報に未入力がある場合、メッセージが表示されます。

11 「送信ボタンを押してください」と表示されたら、[OK]を選ぶ

12 [送信]を選び、入力情報を送信する

<モデムを使ってインターネット接続をする方のみ>

使用するモデムの種類と電話回線の種類を選び、[接続]を選ぶ

フリーダイヤルでダイヤルし、電話回線に接続します。
「セキュリティの警告」画面が表示されたら、[OK]を選んでください。

登録が終了したら、Pana Information IDとパスワードが表示されます。

13 取得したIDとパスワードをメモに取る

14 [終了]を選ぶ

お知らせ

- 電話回線の種類
  - トーンかパルスかがわからない場合は、「不明」を選んでください。まず、トーンで接続を開始し、つながらなければ、パルスで接続し直すかどうかの確認メッセージが表示されます。
    トーン：ダイヤル時にピッポッパッと音がする回線
    パルス：ダイヤル時にピッポッパッと音がしない回線
    ご使用中の電話回線の種類がわからない場合、お近くのNTTにお問い合わせください。
  - ISDN回線の場合は、「トーン」を選びます。
- 回線がつながらないときは話し中の場合（回線が混雑しているとき）があります。少し待ってから操作をし直してください。
- IDとパスワードはオンラインメンバーのサービスを受けるために必要です。必ずメモしておいてください。また、この情報は[スタート]-[マイドキュメント]に「PanaInfo.txt」というファイル名で保存されています。
  - IDを忘れた場合、再取得が必要となりますので、ご注意ください。
  - 他人に悪用されないようIDとパスワードの管理には十分注意してください。

● Pana Information ID を持っている場合

15 ページの手順 *1*、*2* の後、下記手順に従って操作を行ってください。

① [Pana Information ID をお持ちの方] を選ぶ。
② 接続方法を選ぶ。
③ <モデムを使ってインターネット接続をする方のみ>
使用するモデムと電話回線の種類を選び、[接続] を選ぶ。
フリーダイヤルでダイヤルし、電話回線に接続します。
「セキュリティの警告」画面が表示されたら、[OK] を選んでください。
④ Pana Information ID とパスワードを入力し、[ログイン] を選ぶ。
⑤ [基本情報確認] 画面で内容を確認し、必要に応じて変更した後、[次へ] を選ぶ。

以降、画面の指示と 15 ページの手順 *7* 以降を参考にしながら、操作を行ってください。

hi-ho に入会する（hi-ho サインアップ）

プロバイダーPanasonic hi-hoに電話回線を通して接続し、簡単に入会できます。フリーダイヤルで接続するため、入会手続き中の電話料金はかかりません。入会手続き終了後、「おまかせ接続設定」によりインターネット接続設定やメールの設定を自動で行えます。自分で複雑な設定をする必要がなく便利です。

準備するもの

- クレジットカード
加入手続きの途中でナンバーと有効期限を入力していただく必要があります。使用できるクレジットカードについては付属のパンフレットをご覧ください。
- 希望するメールアカウントを決めておく
メールアカウントは、電子メールをやり取りするときの利用者を示します。
希望のメールアカウントが既に使われている場合もありますので、4 ～ 5 個ぐらい用意しておきましょう。

お願い

「hi-hoサインアップ」によるhi-hoへの入会にはアナログ電話回線、ISDN回線をご使用ください。携帯電話、PHS電話やADSL、ケーブルテレビ回線などLANをお使いの場合は、Panasonic hi-hoのホームページから入会してください。

1 コンピューターを回線に接続する(☞『操作マニュアル』「モデム」)

2 [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic hi-ho] - [hi-hoサインアップ] を選ぶ
以降、画面の指示に従ってください。

お願い

登録内容は必ずメモしてください。
接続ID、パスワード、メールアカウントなどの登録内容は忘れないように、必ずメモしておいてください。

- メールパスワードは、電子メール操作時に入力する必要がありますので特に気をつけてメモしてください。（その他の登録情報は、「おまかせ接続設定」で自動でコンピューターに設定されます。）
- メールアカウントが使えるようになるまで約2時間かかります。
- ご入会後、約10日後、ご登録完了のお知らせ、接続手引書などが郵送されます。大切に保管してください。入会時にメモした登録情報と郵送された書類に違いがないか確認してください。サーバーなどの管理のため、まれに「接続パスワード」などが変更されていることがあります。そのような場合は、[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [インターネットオプション] で設定を変更してください。

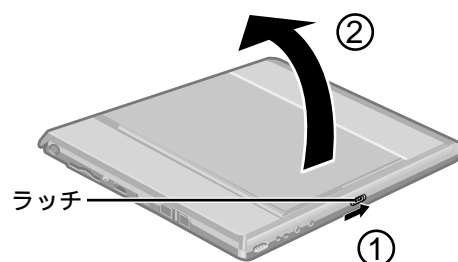
操作を始める／終わる

操作を始める

1 ディスプレイを開ける

①ラッチを矢印の方向にスライドする。
②ディスプレイを開ける。

お願い

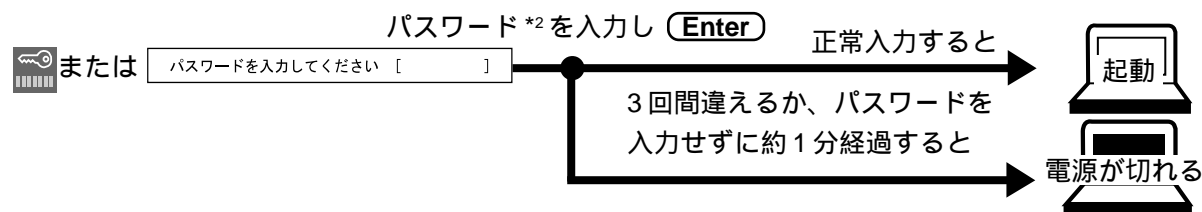
- ディスプレイを必要以上（150º 以上）に開けないでください。
- ディスプレイのガラス部に必要以上の力を加えないでください。また、ガラス部を持って開閉しないでください。

2 電源を入れる

電源スイッチを約1秒間スライドしたままにし、電源表示ランプが点灯したことを確認してから手を離します。

お願い

- 起動中は、ポインターが砂時計（ ）から通常のもの（ ）に戻り、ハードディスク状態表示ランプ（ ）が消えるまで、以下のことはしないでください。
  - ・ACアダプターを抜き挿しする。
  - ・電源スイッチを操作する。
  - ・キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
  - ・ディスプレイを閉じる。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。
- 電源を入れても本体が起動しない場合は、CPUの温度が上がっていることがあります。CPUの温度が上がっていると、CPUの加熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

● **画面に または パスワードを入力してください [ ] *1 が表示されたら . . .**

本機のセキュリティのため、パスワードが設定されています。（☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）

*1 表示は、モデルによって異なります。
*2 セットアップユーティリティで設定されているパスワードです。（Windows のパスワードではありません。）

● **操作していたアプリケーションソフトやファイルがすぐに表示されたら . . .**

前回操作を終えたとき表示していた画面です。「スタンバイ」または「休止状態」と呼ばれる機能を使って操作を終わると、電源を入れたとき、すぐに操作を再開することができます。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ･休止状態機能」）

3 Windows にログオンする

Windows 2000

ハードディスク状態表示ランプ（⊜）が消えてから、ユーザー名とパスワードを入力して［OK］を選びます。正しいユーザー名とパスワードを入力するまで操作できません。

Windows XP

ハードディスク状態表示ランプ（⊜）が消えてから、ユーザーを選びます。

・パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して ➡ を選んでください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。

ここでの操作は、「ようこそ画面を使用する」の設定により異なります。（☞11ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」）

お知らせ

以下の2つの条件がそろっている場合は自動ログオンとなり、ユーザーを選ぶ画面は表示されません。
- ユーザーが一人だけ作成されており、パスワードが設定されていない。
- 「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている。

4 操作をする

各種アプリケーションソフトなどを起動し、操作を始めてください。

お知らせ

- お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、ディスプレイの電源が切れ、画面の表示が消えます。
  この場合、ホイールパッド、キーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
  アプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（ Ctrl や Shift など）を押してください。
  コンピューターを操作せずに放置していると、スタンバイ状態または休止状態に入るように設定されています。電源スイッチをスライドするとリジュームします。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）
- SDメモリーカードのセキュリティ機能で「Windowsのログオンに使用する」に設定している場合
  Windowsへのログオン時やスクリーンセーバーからの復帰時、SDメモリーカード状態表示ランプが点滅していたら、SDメモリーカードを抜かず、キーボードでパスワードを入力してください。
  アプリケーションソフトなどがSDメモリーカードにアクセスしている場合があります。
  以下の場合は、SDメモリーカードを抜いておいてください。
  ・ログオフする前
  ・スタンバイまたは休止状態に入る前
  ・スクリーンセーバーに入る可能性があるとき

Windows 2000

- SDメモリーカードのフォーマットについて
  NTFSファイルシステムでのフォーマットはサポートしていませんので、実行しないでください。

Windows XP

- ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、画面の設定ができなくなる場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、コンピューターの管理者でログオンして操作し直してください。

<個人向けモデルのみ：CN-Stageについて>

- ユーザーの簡易切り替え機能をお使いになる場合は、CN-Stageのセットアップ時に表示される「スタートアップにネットワーク共有プログラムを登録します。」というメッセージで必ず[いいえ]を選んでください。

操作を始める／終わる

操作を終わる（電源を切る）

スタンバイまたは休止状態機能（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）を使わず操作を終わります。

お知らせ

コンピューター本体にACアダプターを接続していないときはコンセント側を抜いておいてください。（ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約1.5 Wの電力が消費されます。）

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する

2 終了画面を表示する

Windows 2000 [スタート]-[シャットダウン]を選ぶ。
Windows XP [スタート]-[終了オプション]を選ぶ。（☞10ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」）

3 終了を確認し、電源を切る

Windows 2000 [シャットダウン]を選び、[OK]を選ぶ。
Windows XP [電源を切る]を選ぶ。
自動的に電源が切れます。

●電源を切らずに、起動し直したい（再起動）

Windows 2000 [再起動]を選んで、[OK]を選ぶ。
Windows XP [再起動]を選ぶ。

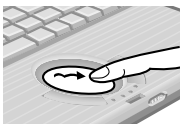
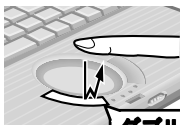
お願い

終了処理が行われている間は、以下のことをしないでください。
- ACアダプターを抜き挿しする。
- 電源スイッチを操作する。
- キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
- ディスプレイを閉じる。

お知らせ

キーボードを使って終了画面を表示するには

Windows 2000 (田)または(Windows)、(U)の順に押し、(→)(←)(↑)(↓)で[シャットダウン]を選んで(Enter)を押す。
Windows XP (田)または(Windows)、(U)の順に押し、(→)(←)(↑)(↓)で[電源を切る]を選んで(Enter)を押す。
（☞10ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」）
* キーボードの刻印は、モデルによって異なります。

次に電源を入れるとき、すぐに操作を再開したい
「スタンバイ」と「休止状態」と呼ばれる機能があります。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）

4 ラッチ部分を持ってディスプレイを閉じる

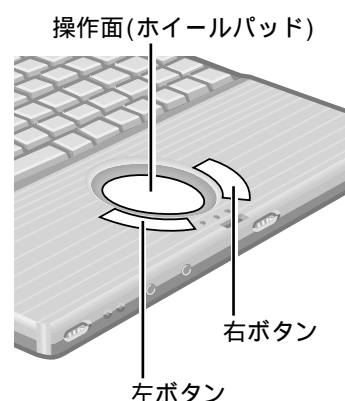
操作の方法

ホイールパッド

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。

お願い

ホイールパッドは、指で操作するように設計されています。操作面を傷つけるようなもので操作しないでください。

機能	操作
カーソルを動かす	指先を操作面で動かします。
タップ / クリック	タップ または クリック
ダブルタップ / ダブルクリック	ダブルタップ または ダブルクリック
ドラッグ	1 回タップしてから、すばやく指先で操作面をこする。 または ボタンを押しながら、指を移動させる。
スクロール	(☞『操作マニュアル』「ホイールパッドの操作」)

使用上のお願い

- 操作面にものを置いたり、つめなど先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので押さえたりしないでください。
- 油などでホイールパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動かなくなります。
- **ホイールパッドに汚れが付着した場合：**
  ガーゼなどの乾いた柔らかい布か水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。ベンジンやシンナー、消毒用アルコールは使わないでください。
  中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

操作マニュアル

操作マニュアルは本機のハードディスクに保存されていて、画面で見ることができます。プリンターが接続されていれば、印刷することもできます。
周辺機器の拡張方法やセットアップユーティリティなど、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。（主な記載内容については、本書の表紙をご覧ください。）

操作マニュアルを起動する

1 電源を入れる

2 Windows 2000

[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[操作マニュアル]を選ぶ

Windows XP

[スタート]-[操作マニュアル]を選ぶ

はじめて操作マニュアルを起動したときは、Acrobat® Readerの「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示される場合があります。内容を確認の上、[同意する]を選んでください。

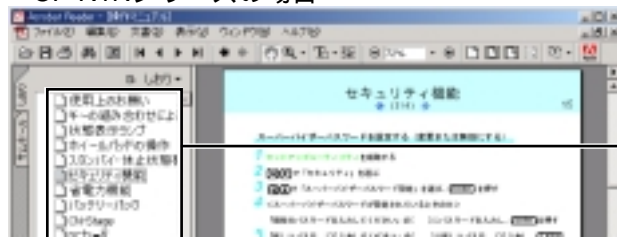
3 もくじの項目にカーソルを移動し、カーソルが 👆 に変わったらクリックする

該当ページが表示されます。

<CF-R1R/CF-R1Pシリーズの場合>

(手のひらツール)
✋でクリックしてください。

もくじ：もくじを表示
戻　る：操作の取り消し
印　刷：印刷画面を表示
(プリンターを設定しておく必要があります。印刷するページは、画面左下で確認してください。)
索　引：索引を表示

<CF-R1Nシリーズの場合>

項目（もくじ）：クリックするとそのページが表示されます。

（画面は予告なく変更する場合があります。）

お知らせ

- 表示サイズによっては、イラストが見えにくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
- Acrobat® Readerの下部がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。
- プリンターに接続している場合は、印刷しておくことをおすすめします。ただし、プリンターによっては、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。
- Acrobat® Readerの新しいバージョンをインストールした場合などには、上記の操作で操作マニュアルが表示できないことがあります。その場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選び、「c¥util¥manual¥manualj.pdf」と入力して[OK]を選んでください。
- Acrobat® Readerを最小化（タスクバーに格納）した状態でスタンバイまたは休止状態に入ると、リジュームしたとき、Acrobat® Readerを表示できない場合があります。コンピューターを再起動してください。

Windows XP

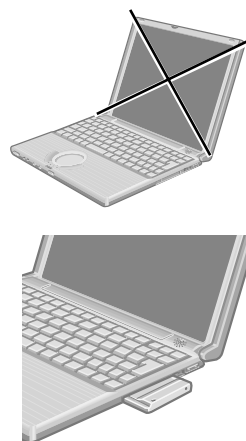
- ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、PDFファイルが正しく印刷されない場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

保管・持ち運び・お手入れ

使用・保管

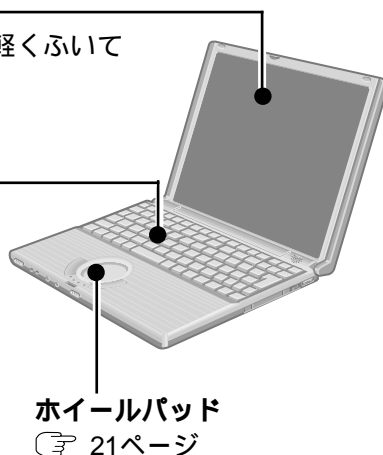
- **適した場所**
  - ・**平らで落下のおそれがない場所**
    コンピューターを立てて置かないでください。倒れると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。
  - ・**使用時の温度：**5 ℃ ～ 35 ℃
    湿度：30 %RH ～ 80 %RH　**（結露なきこと）**
    保管時の温度：-20 ℃ ～ 60 ℃
    湿度：30 %RH ～ 90 %RH　**（結露なきこと）**
- **磁気を発生するもの(磁石、磁気ブレスレットなど)の近くには置かないでください。**

持ち運ぶとき

- **ディスプレイを開けたまま持ち運んだり、ディスプレイやディスプレイの周りのキャビネット部を持って持ち運ばないでください（右図上）。ディスプレイを閉じるときは、ラッチ部分（☞ 8ページ）がきちんとかみ合っていることを確認してください。**
- **落としたり、机の角など硬い物にぶつけないよう注意してください。**
- **電源を切ってから持ち運んでください。**
- **外部装置やケーブル、本体から突き出たPCカード（右図下）、SDメモリーカードやマルチメディアカードをすべて取り外してください。**
- **予備のバッテリーパック(別売り)を用意しておくことをおすすめします。**
  予備のバッテリーパックは、ビニール袋などに入れて持ち運んでください。
- **航空機で持ち運ぶときは、破損等を避けるためコンピューターやディスクなどは、手荷物としてお持ちください。また航空機内の使用は、航空会社の指示に従ってください。**
- **データのバックアップをとり、バックアップしたデータも必要に応じて一緒に持ち運ぶことをおすすめします。**

お手入れ

ディスプレイ：
ガーゼなどの乾いたやわらかい布で軽くふいてください。

ディスプレイ以外の部分：
水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼってやさしく汚れをふき取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

ホイールパッド
☞ 21ページ

お願い

- **ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。**
- **水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。**

エラーコードが表示されたら

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0211 キーボードエラーです。	外部キーボードが動作していません。外部キーボードを取り外してください。
0251 システムCMOSのチェックサムが正しくありません。－デフォルト値が設定されました。	CMOSデータがアプリケーションソフトによって壊されたか、変更されました。 ● セットアップユーティリティでいったんデフォルト設定にした後、再度、適切な値に設定し直してください。 ● それでもエラーになる場合は、CMOSバックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、ご相談窓口にご相談ください。
0271 Check date and time settings	システムの日付と時刻が正しくありません。セットアップユーティリティで日付と時刻を正しく設定してください。
0280 起動を3回失敗しました。－デフォルト値を使用して起動します。	電源を入れてからＯＳが起動するまでに、3回連続してシステムがシャットダウンされました。セットアップユーティリティでデフォルト設定にし、日付・時刻を合わせてください。正しくOSを起動すれば表示されることはありません。

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200 ハードディスクエラーです。	ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。
0212 キーボードコントローラエラーです。	システムボードの故障です。
0230 システムRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0231 シャドウRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0232 拡張RAMエラー。オフセットアドレス：nnnn	メモリーの故障です。
0250 システムのバッテリがありません。－バッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。	CMOSバックアップバッテリーが消耗しています。 バッテリーの交換が必要です。ご相談窓口にご相談ください。
0260 システムタイマーエラーです。	システムボードの故障です。
0270 リアルタイムクロックエラーです。	システムボードの故障です。
02D0 システムキャッシュエラーです。－キャッシュは使用できません。	CPUの故障です。
02F5 DMAのテストが異常終了しました。	システムボードの故障です。

困ったときのQ&A

本機がうまく動かない場合にお読みください。操作マニュアルでも、さらに詳しい内容を紹介しています。また、アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。

●電源を入れたとき

症状	対処
電源表示ランプまたはバッテリー状態表示ランプが点灯しない	● ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが、正しく取り付けられていますか？ ● ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。
＜CF-R1N シリーズのみ＞ USB機器を接続していると、本機が起動しない	一部のUSB機器を接続していると本機が起動しない場合があります。USB機器を外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「無効」に設定してください。
または「パスワードを入力してください」が表示された	パスワードを入力してください。 パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
システム起動エラーが表示された	☞ 24ページ
Windows の起動および動作が極端に遅い	● セットアップユーティリティを起動してください。 (☞『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」) F9 を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻した後、再度各種設定をしてください。 （動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての次動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。） ● ストリーミング再生時などに動作が遅くなる場合は､画面の色数を変更してください。
日付と時刻が正しく表示されない	● 次の項目を使って訂正してください。 Windows 2000 [コントロールパネル]-[日付と時刻] Windows XP [コントロールパネル]-[日付、時刻、地域と言語のオプション]-[日付と時刻] ● 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合､日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）の残量がない可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。 ● LAN（ネットワーク）に接続している場合は、サーバーの日付／時刻を確認してください。 ● 西暦2100年以降は、日付と時刻が正しく認識されません。
スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、 または「パスワードを入力してください」が表示されない	セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはセットアップユーティリティで設定したパスワード入力は要求されません。代わりに、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定することができます。 Windows 2000 [コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]でユーザーのパスワードを設定し、[コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細]の「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。 Windows XP [コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で変更するアカウントを選び、パスワードを設定し、[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]の「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。
「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」などが表示される	● システムを起動できないフロッピーディスクが、フロッピーディスクドライブにセットされたままになっていることを意味します。フロッピーディスクを取り出してから、何かキーを押してください。 ● 一部のUSB機器を接続していると、このメッセージが表示されることがあります。USB機器を取り外すかセットアップユーティリティの「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「無効」に設定してください。それでもフロッピーディスクがセットされていないのに左記メッセージが表示される場合、ハードディスクに何らかの問題が発生していることが考えられます。ご相談窓口にご相談ください。

困ったときのQ&A

● 電源を入れたとき（つづき）

Administrator またはコンピューターの管理者のパスワードを忘れた	Windows 2000 再インストールした後、Windowsをセットアップしてパスワードを設定し直してください。 Windows XP パスワードリセットディスク（☞11ページ）を作成していた場合は、パスワードの入力に失敗すると、メッセージが表示されます。メッセージに従って、パスワードを再設定してください。 パスワードリセットディスクを作成していなかった場合は、再インストールした後、Windowsをセットアップしてパスワードを設定し直してください。
Windows 2000 スタートメニューの一部しか表示されない	● 簡易メニュー表示機能（よく使用するメニューを優先的に表示し、その他のメニューを隠す機能）が働いています。 を選ぶと、隠れていたメニューが表示されます。 ● 常にすべてのメニューが表示されるようにするには、[スタート]-[設定]-[タスクバーと[スタート]メニュー]を選び、「頻繁に利用するメニューを優先的に表示」のチェックマークを外してください。
その他の問題が起きる場合	● セットアップユーティリティを起動し、(F9) を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻してください。 ● 周辺機器を取り外して試してください。 ● 次の手順でディスクのエラーチェックを行ってください。 Windows 2000 *1* [マイコンピュータ]の[ローカルディスク（C:）]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選ぶ。 *2* [ツール]から[チェックする]を選ぶ。 *3* [チェックディスクのオプション]で必要に応じた項目を選び、[開始]を選ぶ。 Windows XP *1* [スタート]-[マイコンピュータ]の[ローカルディスク（C:）]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選ぶ。 *2* [ツール]から[チェックする]を選ぶ。 *3* [チェックディスクのオプション]で必要に応じた項目を選び、[開始]を選ぶ。 ● 起動時、(F8) を押し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。

● 画面表示

電源を入れた後、画面に何も表示されない	● 外部ディスプレイの画面に表示されない場合： ・外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ・外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ・外部ディスプレイの設定は正しいですか？ ・＜CF-R1R/CF-R1P シリーズのみ＞ 以下の項目で「CRT」を「オン」に設定していますか？ Windows 2000 [コントロールパネル]-[画面]-[設定]-[詳細]-[Lynx3DM+] Windows XP [コントロールパネル]-[デスクトップの表示とテーマ]-[画面]-[設定]-[詳細設定]-[Lynx3DM+] ● (Fn) + (F3) で表示先を切り替えてください。
画面が消えた、または画面に何も表示されない	● 省電力機能によって、ディスプレイの表示が消えることがあります。いずれかのキーを押すと元に戻ります。その際、選択に使うキー（(Enter)、(Space)、(Esc)、(Y)、(N) や数字キーなど）は使わず、動作に影響のないキー（(Ctrl) や (Shift) など）を押してください。 ● 省電力機能によって、スタンバイ（電源表示ランプが緑色点滅する）・休止状態（電源表示ランプ消灯）に入ることがあります。 その場合、電源スイッチをスライドすると元に戻ります。 ● 表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。 (Fn) + (F3) を押してディスプレイの表示先を切り替えてください。 ● (Fn) + (F3) を続けて押す場合は、画面の表示先が完全に切り替わったことを確認してから押してください。

●画面表示（つづき）

バッテリーパックで使用すると、ACアダプター接続時に比べて画面が暗い	(Fn) + (F2) を押して輝度を調整してください。ただし、輝度を上げると、バッテリー駆動時間が短くなります。 輝度は、ACアダプターが接続されている状態と接続されていない状態で別々に設定できます。
残像が現れる	イメージが画面に焼き付き、残像となることがあります。別の画面が表示されると残像は消えます。
カーソルが動かない	● 外部マウスを使用している場合は、外部マウスを正しく接続し直してください。 ● (⊞)または (⊞) 、 (U) の順に押し、(→)(←)(↑)(↓)で[再起動]を選んで (Enter) を押してください。 ● キーボードで操作できない場合は、29ページの「ハングアップした」をご覧ください。
画面に緑、赤、青のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤・青・緑色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下）
画面が乱れる	解像度・色数を変更すると画面が乱れることがあります。コンピューターを再起動してください。
外部ディスプレイに正しく表示されない	外部ディスプレイが省電力機能に対応していない場合、省電力のためにディスプレイの電源を切る状態に入ると、外部ディスプレイに正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください
外部ディスプレイと内部LCDの両方に表示しているとき、外部ディスプレイ側に正しく表示されない	● (Fn) + (F3) で表示先を切り替えてください。 ● ＜CF-R1Nシリーズのみ＞ (Fn) + (F3) で表示先を切り替えても表示されない場合は、以下の項目で表示先を変更して試してください。 Windows 2000 ：[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[Intel(R) Graphics Technology] Windows XP ：[スタート]-[コントロールパネル]-[コントロールパネルのその他のオプション]-[Intel(R) Graphics Technology]
＜CF-R1Nシリーズのみ＞ ディスプレイいっぱいに画面が表示されない（ディスプレイ中央に表示される）	解像度を800 × 600以下に設定し、同時表示にした場合、画面はディスプレイいっぱいに表示されません。また、拡張デスクトップモードに設定した場合も、ディスプレイいっぱいに表示されない場合があります。
Media PlayerでMPEGファイルを再生しているとき、(Fn) ＋(F3) で画面の表示先を切り替えることができない	＜CF-R1R/CF-R1Pシリーズの場合＞ 以下の手順で、画面のストレッチをオフに設定してください。 Windows 2000 [コントロールパネル]-[画面]-[設定]-[詳細]-[Lynx3DM+]-[ストレッチ] Windows XP [スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップの表示と設定]-[画面解像度を変更する]-[詳細設定]-[Lynx3DM+]-[ストレッチ] ＜CF-R1Nシリーズの場合＞ MPEGファイルの再生中に、画面の表示先を切り替えることはできません。 MPEGファイルを閉じてから、表示先を切り替えてください。
Windows XP タスクトレイのアイコンが隠れて見えない	タスクバーを右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選んで、[タスクバー]の[アクティブでないインジケータを隠す]のチェックマークを外してください。

困ったときのQ&A

● 終了時

Windows が終了できない	● USB 機器を接続している場合は、一度取り外してから試してください。 ● プロバイダーへの通信は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windows が終了しなかったり、再起動できなかったりします。 通信の設定については、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。 ● LAN（☞『操作マニュアル』「LAN 機能」）は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windows が終了しなかったり、再起動できなかったりします。 ● LANの設定については、接続サービス会社(プロバイダー)や会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

● バッテリー状態表示ランプ

赤色に点灯している <CF-R1R/CF-R1Pシリーズのみ> 使用中にビープ音が鳴り始めた	バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにデータを保存し、終了してください。ACアダプターを接続するか、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
赤色に点滅している	すぐにデータを保存し終了した後、ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。 それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
オレンジ色に点滅している	バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、充電できません。温度が充電可能な範囲内になると自動的に充電が始まります。

● 操作マニュアル

操作マニュアルを表示できない	Acrobat Readerをアンインストールしませんでしたか？ アンインストールした場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で、以下のプログラム*を実行し、画面に従ってインストールしてください。その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、スタートメニューから操作マニュアルなどを起動できません。 * <CF-R1R/CF-R1Pシリーズの場合> ：「c:\util\reader\ar500jpn.exe」 <CF-R1Nシリーズの場合> Windows 2000 ：「c:\util\reader\ar505jpn.exe」 Windows XP ：「c:\util\reader4\ar405jpn.exe」

● ユーザーの簡易切り替え機能 Windows XP

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない	ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。 ・アプリケーションソフトが正しく動作しない（PDFファイルが正しく印刷されないなど） ・画面の設定ができない このような場合は、簡易切り替え機能を使わずに、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

● 再インストール

セットアップユーティリティの「ハードディスクリカバリー／消去」* が表示されない * <CF-R1R/CF-R1P シリーズの場合>：「ハードディスクリカバリー」	● ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動していませんか？スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。 ● リカバリー用データの領域が削除されている可能性があります。 ご相談窓口にご相談ください。

● その他

ハングアップした	● ＜CF-R1R/CF-R1Pシリーズの場合＞ MPEGファイル再生中に画面の切り替え([コマンドプロンプト]の全画面表示や Fn + F3 を使った表示先の切り替えなど)を連続して行わないでください。 ＜CF-R1Nシリーズの場合＞ MPEGファイル再生中に画面の切り替え([コマンドプロンプト]の全画面表示など)を連続して行わないでください。 ● 入力待ち画面などが別のウィンドウで隠れていませんか？ Alt + Tab で表示されている画面を確認してください。 ● Ctrl + Shift + Esc を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 電源スイッチを4秒以上スライドして電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、以下の項目でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再度インストールしてください。 Windows 2000 ：[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除] Windows XP ：[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]
＜Microsoft® Outlook® Plus! またはMicrosoft® Outlook Plus! Version 2.0 がインストールされている場合のみ＞ Microsoft® Outlook® Plus! ツールがアンインストールできない	Microsoft® Office XP*を先にアンインストールしませんでしたか？その場合は、以下の手順に従ってください。 *1* 付属のCDを使ってMicrosoft® Outlook® 2002をインストールする。 Microsoft® Outlook® 2002のインストールは、インストールの種類を指定する画面で「カスタム」を選び、インストールするアプリケーションの指定画面で「Microsoft® Outlook®」を選んでください。 インストール方法がわからない場合は、完全インストールでもかまいません。 *2* Microsoft® Outlook® Plus!ツールをアンインストールする。 *3* Microsoft® Office XP*をアンインストールする。 * CF-R1Pシリーズ： Microsoft® Office XP PersonalまたはMicrosoft® Office XP Professional CF-R1Nシリーズ： Microsoft® Office XP Personal
＜CF-R1N シリーズのみ＞ USB フロッピーディスクまたはUSB CD ドライブから起動できない	左側の、USB 2.0対応のコネクターに接続してください。
＜個人向けモデルのみ＞ CN-Stage を起動すると、「CN-Stage COMMONITOR は既に起動しています。」と表示される	CN-Stage画面で[設定]を選び、[ネットワーク機能]のチェックマークを外してください。

再インストールのしかた（ハードディスク リカバリー）

再インストールの前に以下の点を確認する

- 必要なデータはバックアップをとっておいてください。再インストールを実行すると、ハードディスクにインストールしたアプリケーションソフトや作成したデータをすべて消去し、ハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻します。
- 周辺機器およびSDメモリーカード/マルチメディアカードは、すべて取り外してください。特に、USBフロッピーディスクドライブやUSB接続のCDドライブは、接続したままでは再インストールが正常に行われない場合がありますので、必ず取り外してください。
- 必ず、ACアダプターを装着してください。

再インストールする

＜CF-R1R/CF-R1P シリーズの場合＞

お願い

- 再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
- 再インストールを途中でキャンセルした場合、最初からやり直してください。
- ハードディスクのパーティション（区画）を変更されるお客様へ
  - ・ハードディスク内には、再インストールに必要なリカバリー用データを格納している領域（約3 Gバイトの Non-DOS領域）があります。この領域は絶対に削除しないでください。
  - ・最初のパーティションにWindowsを再インストールするときは、あらかじめ複数のパーティションを作成しておいてください。
    複数のパーティションが作成されていない場合は、パーティションが作成されていない領域を含むすべての領域がCドライブとなります（お買い上げ時と同じ状態になります）。
  - ・Windows 95、Windows 98、Windows 98 Second Editionに標準添付されているFDISKは使用しないでください。パーティションが正しく設定されない場合があります。
    正しく設定できるFDISKは、以下のとおりです。
    - Windows Me標準添付のFDISK
    - Windows 98/Windows 98 Second Edition用 64 Gバイト ハードディスク対応のFDISK*

    *標準添付のFDISKに対する修正プログラムとして提供されています。詳しくはMicrosoft社のホームページを参照してください。

1 コンピューターの電源を入れ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに、 F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

2 セットアップユーティリティの現在の設定内容を紙などにメモしておいてから、F9 を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

3 ← と → を使って「終了」メニューに移動し、↑ と ↓ を使って5行目の「設定を保存する」を選んで Enter を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

お知らせ

セットアップユーティリティが終了してコンピューターが再起動してしまった場合
1行目の「設定を保存して終了」を選んでいます。コンピューターの電源を切り、手順*1*からやり直してください。

4 「ハードディスク リカバリー」を選び、Enter を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

お知らせ

以下の場合は、ご相談窓口にご相談ください。ハードディスク内の再インストール用領域が削除されていたり、再インストールに必要なファイルが壊れていたりする場合があります。
・「ハードディスク　リカバリー」が表示されない
・リカバリー用ファイルに不整合がありますというメッセージが表示される

5 再インストールを実行するための条件が表示されたら、同意する場合は (1) を押し、同意しない場合は (2) を押す。
(1) を押すとメニューが表示されます。
(2) を押すと再インストールが終了します。

6 メニューから、どの操作を実行するかを選ぶ。
・ハードディスクの内容をパーティション設定も含めて、すべて工場出荷の状態にするには：
[1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。]を選ぶ。
・最初のパーティション(通常はCドライブ)を工場出荷の状態にするには：
[2.最初のパーティションにWindowsを再インストールする]を選ぶ。

この場合、最初のパーティションのサイズは約4 Gバイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

7 確認のメッセージが表示されたら (Y) を押す。
再インストールが始まります。

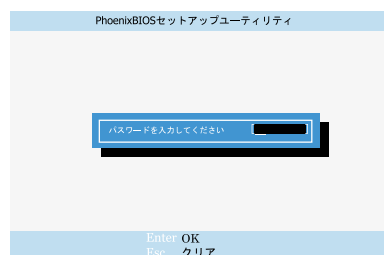
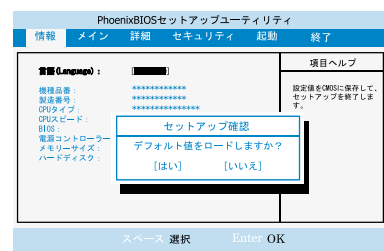
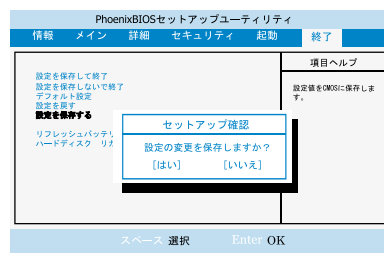
8 コピーなどが終了して「リカバリーを終了しました」というメッセージが表示されたら、メッセージに従って (Ctrl) + (Alt) + (Del) を押してコンピューターを再起動する。

9 Windowsのセットアップを行う。（☞ 9、10ページ）

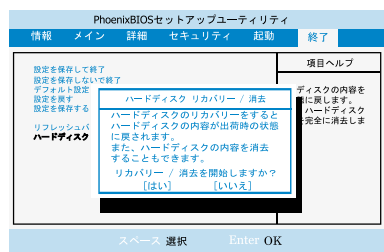
＜CF-R1N シリーズの場合＞

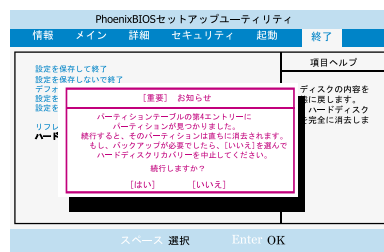
お願い

● 再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
● 再インストールを途中でキャンセルした場合、最初からやり直してください。
● ハードディスクのパーティション（区画）を変更されるお客様へ
・ハードディスク内には、再インストールに必要なリカバリー用データを格納している領域があります。この領域は、保護のため、FDISKなどを使った方法では表示も削除もできないようになっています。しかし、特殊な方法を使った場合は、この領域も削除されるおそれがあります。削除すると工場出荷時の状態に戻せなくなりますので、絶対に削除しないでください。
・Windows 95、Windows 98、Windows 98 Second Editionに標準添付されているFDISKは使用しないでください。パーティションが正しく設定されない場合があります。
正しく設定できるFDISKは、以下のとおりです。
- Windows Me標準添付のFDISK
- Windows 98/Windows 98 Second Edition用 64 Gバイト ハードディスク対応のFDISK*
*標準添付のFDISKに対する修正プログラムとして提供されています。詳しくはMicrosoft社のホームページを参照してください。
● ハードディスクに4番目のパーティションを作成してお使いのお客様へ
4番目のパーティションは、ハードディスクリカバリーを起動すると削除されます。必要なプログラムやデータは、あらかじめバックアップを取っておいてください。
4番目のパーティションの有無やドライブ名は、以下の手順で確認できます。
Windows 2000 ：[マイコンピュータ]を右ボタンで選び、[管理]-[ディスクの管理]の順に選ぶ。
Windows XP ：[スタート]を選び、[マイコンピュータ]を右ボタンで選んで、[管理]-[ディスクの管理]の順に選ぶ。
ドライブ名は、パーティションの構成や周辺機器の接続により変動します。バックアップを取るときは、ドライブ名を確認してください。
● ＜無線LANモジュール内蔵モデルのみ＞
セットアップユーティリティで「詳細」メニューの「無線LAN」が「有効」に設定されていることを確認してください。

再インストールのしかた（ハードディスク リカバリー）

1 コンピューターの電源を入れ、すぐに(F2)を押し続け、セットアップユーティリティが起動したら(F2)から指を離す。
パスワードが設定されている場合は、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

2 セットアップユーティリティの現在の設定内容を紙などにメモしておいてから、(F9)を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、(Enter)を押す。

3 (←)と(→)を使って「終了」メニューに移動し、(↑)と(↓)を使って5行目の「設定を保存する」を選んで(Enter)を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、(Enter)を押す。

お知らせ

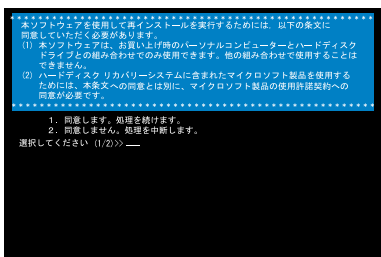
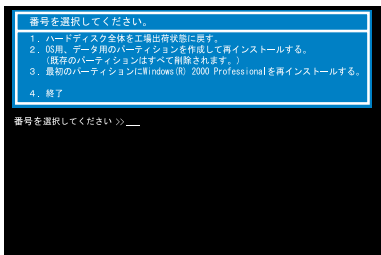
セットアップユーティリティが終了してコンピューターが再起動してしまった場合、1行目の「設定を保存して終了」を選んでいます。コンピューターの電源を切り、手順*1*からやり直してください。

4「ハードディスク リカバリー/消去」を選び、(Enter)を押す。
左の確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、(Enter)を押す。

以下の場合は、ご相談窓口にご相談ください。
・「ハードディスク　リカバリー/消去」が表示されない
・リカバリー用ファイルに不整合がありますというメッセージが表示される
ハードディスク内の再インストール用領域が削除されていたり、再インストールに必要なファイルが壊れていたりする場合があります。

手順4で、4番目のパーティションがあることを示す赤いメッセージが表示された場合

すでにバックアップ済みの場合　：「はい」を選ぶ。
4番目のパーティションは消去されます。

まだバックアップしていない場合：「いいえ」を選ぶ。
操作は中止され、セットアップユーティリティの画面に戻ります。

困ったときは

5 (1) を押して「1.OSの再インストールを開始する」を実行する。

6 再インストールを実行するための条件が表示されたら、
同意する場合は (1) を押し、
同意しない場合は (2) を押す。
(1) を押すとメニューが表示されます。
(2) を押すと再インストールが終了します。

7 メニューから、実行する操作を選ぶ。

- 「2」を選んだ場合、OS用パーティションのサイズ(Gバイト単位)を数字で入力し、(Enter) を押す。
  - 0を入力すると、操作を中止できます。
  - 設定できる最大のサイズがハードディスクドライブの容量より小さいのは、データ用のパーティションとリカバリー用のデータ領域を確保するためです。
  - 入力した数字を設定できる最大のサイズから引いた残りがデータ用パーティションのサイズになります。

  ＊機種により、設定できる最大のサイズは異なります。
- 「3」を選ぶ場合は、最初のパーティションのサイズは約6Gバイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

8 確認のメッセージが表示されたら (Y) を押す。
再インストールが始まります。

9 コピーなどが終了して「リカバリーを終了しました」というメッセージが表示されたら、メッセージに従って (Ctrl) + (Alt) + (Del) を押してコンピューターを再起動する。

10 Windowsのセットアップを行う。 (☞9、10ページ)

困ったときは

再インストールのしかた(ハードディスク リカバリー)

アプリケーション付きモデルについて

再インストールした場合、付属のMicrosoft社製アプリケーションを再度インストールする必要があります。

・Microsoft® Office XP PersonalまたはMicrosoft® Office XP Professional、Microsoft® Encarta®百科事典2002 Basic、Microsoft® Outlook® Plus! Version 2.0 ＜CF-R1NシリーズのMicrosoft® Office XP Personal搭載モデルのみ＞ ソフトウェアパッケージに付属のCDを使ってインストールしてください。（別売りのCDドライブが必要です。）

＜CF-R1Pシリーズのみ＞

・Microsoft® Outlook® Plus!
Microsoft® Office XP PersonalまたはMicrosoft® Office XP Professionalをあらかじめインストールしておいてください。

1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選ぶ。

2 「c:\util\olplusj\olplusj.exe」と入力して[OK]を選ぶ。
以降、画面の指示に従ってください。

● Microsoft® Office XP PersonalまたはMicrosoft® Office XP Professionalのライセンス認証について

Microsoft® Office XP Personal または Microsoft® Office XP Professional を再インストールした場合、ライセンス認証が必要になります。ライセンス認証を行わずに使い続けた場合、ある一定の使用回数を超えると各ソフトウェアに使用制限が発生します。必ず、認証を受けるようにしてください。

＜ライセンス認証の操作の流れ＞

Microsoft® Office XP Personal または Microsoft® Office XP Professional を再インストールした場合、Microsoft® Office XP Personal または Microsoft® Office XP Professional に含まれているいずれかのソフトウェアを起動すると認証ウィザードが起動します。付属のソフトウェアパッケージ内の説明書をご覧のうえ、操作を行ってください。

● 認証方法として、インターネットによる認証と電話による認証の2とおりがあります。インターネットによる認証を受けるには、インターネット接続ができる環境が整っている必要があります。

● ライセンス認証についてご不明な点がありましたら、下記までご連絡ください。

ライセンス認証専用窓口
0120-801-734（24時間受付）

（2002年9月1日現在）

ソフトウェア使用許諾書

第１条　権利
お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属CD-ROMおよびマニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第２条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、本コンピューター1台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。

第５条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第６条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第７条　免責
本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第６条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店などはその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

ハードディスクの内容をすべて消去する

< CF-R1N シリーズのみ >

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、内蔵ハードディスク（リカバリー用データ領域を除く）に保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去します。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

> ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客様の損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行すると、ハードディスクからは起動しなくなります。
- すでに損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。
- リカバリー用データは削除されません。

データをすべて消去する

1. コンピューターの電源を入れ、すぐに F2 を押し続け、セットアップユーティリティが起動したら F2 から指を離す。
   「パスワードを入力してください」と表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
2. ← と → を使って「終了」メニューに移動し、↑ と ↓ を使って7行目の「ハードディスク　リカバリー／消去」を選んで Enter を押す。

> 以下の場合は、ご相談窓口にご相談ください。
> ・「ハードディスク　リカバリー／消去」が表示されない
> ・リカバリー用ファイルに不整合がありますというメッセージが表示される
> ハードディスク内の再インストール用領域が削除されていたり、再インストールに必要なファイルが壊れていたりする場合があります。

3. 確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、 Enter を押す。
   - パーティション消去の確認メッセージが表示されたら、画面の指示に従ってください。

4. 2 を押して「2.セキュリティのためハードディスクの内容を消去する」を実行する。
   確認のメッセージが表示されます。
5. Y を押す。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティが起動します。

6「<<<スタートメニュー>>>」で Enter を押す。
消去にかかるおおよその時間が表示されます。

7 Space を押す。
確認のメッセージが表示されます。

8 Enter を押す。
ハードディスクのデータ消去が開始されます。
（万一、途中でデータ消去を中断する場合は、Ctrl + C を押して中断することができますが、すでに消去されたデータは復元されません。）
完了のメッセージが表示されたら、本機の電源を切ってください。
何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

各部の名称と働き

ファンクションキー

Fn と組み合わせて押すと、各キーに割り当てられている機能が働きます。

☞『操作マニュアル』「キーの組み合わせによる操作」

キーボード

＜CF-R1N シリーズのみ＞
キーの位置が触ってわかるように、F、J、(Windows キー) の上に突起が付いています。

ホイールパッド

☞ 21 ページ

オーディオ出力端子

市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。ヘッドホンまたはスピーカーを接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。

状態表示ランプ

☞『操作マニュアル』
「状態表示ランプ」

電源表示ランプ

電源オン時　　　　　　：点灯
スタンバイ時　　　　　：点滅
電源オフ時と休止状態時：消灯

バッテリー状態表示ランプ

☞『操作マニュアル』
「バッテリーパック」

電源スイッチ

マイク入力端子

コンデンサー型モノラルマイクロホンの 2 極プラグタイプと 3 極プラグタイプを使用できます。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。

スピーカー

● 音量調節：Fn + F5 または F6
● スピーカーのオン/オフ：Fn + F4

ディスプレイ

USB コネクター

（USB1.1 対応）

☞『操作マニュアル』「USB 機器」

PC カードスロット

☞『操作マニュアル』「PC カード」

状態表示ランプ

☞『操作マニュアル』「状態表示ランプ」

Caps Lock (A)・NumLk (1)・ScrLk (⇅)
　機能時：点灯

ハードディスク状態表示ランプ

　HDD 動作中：点灯

パネルスイッチ

ディスプレイを閉じてラッチがロック状態になると、以下の項目の設定に従い、「スタンバイ状態」に入るなどの動作をします。

Windows 2000 ：[コントロールパネル] - [電源オプション] - [詳細] の「ポータブルコンピュータを閉じたとき」

Windows XP ：[コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定] の「ポータブルコンピュータを閉じたとき」

☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」「省電力機能」

・操作を再開するときは、ディスプレイを開けてください。
　ディスプレイを閉じる以外の方法でスタンバイまたは休止状態にした場合はディスプレイを開け、電源スイッチをスライドしてください。

・Windows 2000
　「シャットダウン」に設定しているときは、ディスプレイを開け、電源スイッチをスライドする必要があります。

無線LAN用アンテナ部
＜無線LANモジュール内蔵モデルのみ＞
『操作マニュアル』「無線LAN機能」
H" IN用アンテナ部
＜H" INモジュール内蔵モデルのみ＞
『操作マニュアル』「H" INモジュール」
SD メモリーカードスロット
SD メモリーカード状態表示ランプ
SD メモリーカードアクセス中：点灯
『操作マニュアル』
「SD メモリー / マルチメディアカード」
電源端子
DC IN 16V
外部ディスプレイコネクター
外部ディスプレイを接続するには、別売りのVGA変換ケーブルが必要です。
『操作マニュアル』「外部ディスプレイ」
USB コネクター
＜ CF-R1R/CF-R1P シリーズ：USB1.1 対応 ＞
＜ CF-R1N シリーズ：USB2.0 対応 ＞
『操作マニュアル』「USB 機器」
＜CF-R1R/CF-R1Pシリーズのみ＞
ワイヤレスコムポート
『操作マニュアル』
「携帯電話・PHS 電話」
モデムコネクター
『操作マニュアル』「モデム」
お願い
雷が鳴っているときは、モジュラーケーブルを抜いてください。
注意
通風孔をふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
禁止
LAN コネクター
『操作マニュアル』「LAN 機能」
通風孔
バッテリーパック
『操作マニュアル』「バッテリーパック」
＜CF-R1N シリーズのみ＞
デスクトップの「バッテリーの上手な使い方」
RAMモジュールスロット
『操作マニュアル』「RAMモジュール」
通風孔

仕様 日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

● 本体仕様

＜全モデル共通＞

メモリー	キャッシュ	L1	32 K バイト
		L2	512 K バイト
LCD	タイプ		10.4 型の TFT カラー液晶
	解像度 （表示色数）		1024 × 768 ドット（256 色 /65536 色 /1600 万色）*1
外部ディスプレイ			1280 × 1024/1024 × 768/800 × 600/640 × 480 ドット （4 種のうちいずれの解像度でも 256 色 /65536 色 /1600 万色）*2
キーボード			OADG 準拠、Windows キーボード（85 キー）
スロット	PC カードスロット		Type I(Type II) × 1 スロット 許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA
	SD メモリーカードスロット		SD メモリーカード / マルチメディアカード
インターフェース	外部ディスプレイコネクター		専用コネクター（16 ピン）*3
	マイク入力端子		モノラルミニジャック M3（コンデンサーマイクを使用のこと）
	オーディオ出力端子		ステレオミニジャック M3
	モデムコネクター		RJ-11 DATA:56 kbps（V.90 & K56flex）FAX:14.4 kbps
	LAN コネクター		RJ-45 100BASE-TX/10BASE-T
ポインティングデバイス			ホイールパッド
サウンド機能			PCM 音源（16 ビットステレオ）、モノラルスピーカー
消費電力 *4			最大 約 40 W、（社)電子情報技術産業協会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値：24 W
外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）			240 mm × 23.5(前部)/37.2(後部) mm × 183 mm （突起部を除く）
使用環境条件			温度：5 °C ~ 35 °C 湿度：30 %RH ~ 80 %RH（結露なきこと）

*1 ディザリング機能を使用して約1600万色表示を実現しています。 Windows XP ：640 × 480ドット、256色には対応していません。
*2 外部ディスプレイの仕様により異なります。 Windows XP ：640 × 480ドット、256色には対応していません。
*3 別売りのVGA変換ケーブルが必要です。
*4 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約1.5 W。
＜CF-R1R/CF-R1Pシリーズのみ＞
「LAN Wake Up機能」が「有効」に設定されているときは約3.0 W。

＜ CF-R1R シリーズの場合＞

機種名		CF-R1RCXR CF-R1RCXP CF-R1RCHXP CF-R1RCQXP CF-R1RC2S CF-R1RCXS	CF-R1RWXP CF-R1RWHXP CF-R1RWQXP CF-R1RW2S CF-R1RWXS	CF-R1RT2S*5
CPU		Intel® SpeedStep™ テクノロジ対応　超低電圧版 モバイル Pentium® IIIプロセッサ 700 MHz-M		
搭載メモリー（拡張可能メモリー）		128 Mバイト（最大256 Mバイト）		
ビデオメモリー		4 Mバイト		
ハードディスクドライブ		約 20 G バイト *6（リカバリー用データ領域として約 3 G バイトを使用）		
スロット	増設RAMスロット	1スロット（144ピン、マイクロ DIMM、3.3 V対応、SDRAM、100 MHz*7）		
インターフェース	USB コネクター	Universal Serial Bus 1.1 準拠 4 ピン × 2		
	ワイヤレスコムポート	18ピン（携帯電話/PHS電話接続用）		
	無線LAN モジュール	—	内蔵（☞ 43ページ）	—
	H"INモジュール	—	—	内蔵
質量		約960 g	約990 g	

*5 TWO LINK DATA対応モデル。
*6 1 Gバイト=10^9バイトで端数を省略しています。
*7 RAMモジュールを増設する際、100 MHz対応であることをご確認ください。

＜CF-R1P シリーズの場合＞

機種名		CF-R1PCAXR/CF-R1PCAXP/CF-R1PCHXP/CF-R1PCQXP/CF-R1PCA2S/CF-R1PCAXS	CF-R1PWAXP/CF-R1PWHXP/CF-R1PWQXP/CF-R1PWA2S/CF-R1PWAXS/CF-R1PWJXP/CF-R1PWRXP
CPU		Intel® SpeedStep™ テクノロジ対応　超低電圧版 モバイル Pentium® IIIプロセッサ 800 MHz-M	
搭載メモリー（拡張可能メモリー）		128 Mバイト（最大256 Mバイト）	
ビデオメモリー		4 Mバイト	
ハードディスクドライブ		約 20 G バイト *1（リカバリー用データ領域として約 3 G バイトを使用）	
スロット	増設RAMスロット	1スロット（144ピン、マイクロ DIMM、3.3 V対応、SDRAM、100 MHz*2）	
インターフェース	USB コネクター	Universal Serial Bus 1.1 準拠 4 ピン × 2	
	ワイヤレスコムポート	18ピン（携帯電話/PHS電話接続用）	
	無線LAN モジュール	―	内蔵（☞ 43ページ）
質量		約960 g	約990 g

*1 1 Gバイト=10⁹ バイトで端数を省略しています。
*2 RAMモジュールを増設する際、100 MHz対応であることをご確認ください。

＜CF-R1N シリーズの場合＞

機種名		CF-R1NCAXR CF-R1NCAXP CF-R1NCHXP CF-R1NCQXP CF-R1NCA2S CF-R1NCAXS	CF-R1NWAXP CF-R1NWHXP CF-R1NWQXP CF-R1NWA2S CF-R1NWAXS	CF-R1NDAXP CF-R1NDHXP CF-R1NDQXP	CF-R1NVAXP CF-R1NVHXP CF-R1NVQXP
CPU		Intel® SpeedStep™ テクノロジ対応　超低電圧版 モバイル Pentium® IIIプロセッサ 866 MHz-M			
搭載メモリー（拡張可能メモリー）		128 Mバイト（最大384 Mバイト）		256 Mバイト（最大512 Mバイト）	
ビデオメモリー		最大32 Mバイト（メインメモリーと共有）*3		最大48 Mバイト（メインメモリーと共有）*3	
ハードディスクドライブ		約 20 G バイト *4		約 40 G バイト *4	
		上記容量のうち約 3 G バイトはリカバリー用データ領域として使用。（ユーザー使用不可）			
スロット	増設RAMスロット	1スロット（144ピン、マイクロ DIMM、3.3 V対応、SDRAM、133 MHz*5）			
インターフェース	USB コネクター	右：Universal Serial Bus 1.1 準拠 4 ピン × 1 左：Universal Serial Bus 2.0 準拠 4 ピン × 1			
	無線LAN モジュール	―	内蔵（☞ 43ページ）	―	内蔵（☞ 43ページ）
質量		約960 g	約990 g	約960 g	約990 g

*3 コンピューターの動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。
＜最大32 Mバイトのモデルのみ＞メモリー増設時には最大48 Mバイトになります。
*4 1 Gバイト=10⁹ バイトで端数を省略しています。
*5 RAMモジュールを増設する際、133 MHz対応であることをご確認ください。

● 付属品仕様　＜全モデル共通＞

AC アダプター	入力	AC 100 V 〜 240 V*6、50 Hz/60 Hz
	出力	DC 16 V、2.5 A
	電源コード	125 V 対応
バッテリーパック	仕様	7.4 V(Li-ion)、4.4 Ah
	駆動時間	＜CF-R1R シリーズの場合＞ H"INモジュールが内蔵されていないモデル：約6 時間*7 H"INモジュール内蔵モデル：約5 時間*7 ＜CF-R1P シリーズの場合＞：約6 時間*7 （無線通信機能内蔵モデルは約30分短くなります。） ＜CF-R1N シリーズの場合＞：約5 時間*7 （無線通信機能内蔵モデルは約30分、Windows 2000モデルは約20分短くなります。）

*6 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。(☞ 3ページ)
*7 JEITAバッテリー動作時間測定法（Ver.1.0）による駆動時間。バッテリー駆動時間は、動作環境・システム設定により変動します。

仕様 日本国内専用

● 導入済みソフトウェア

＜CF-R1R シリーズの場合＞

機種名	CF-R1RC2S/CF-R1RT2S/CF-R1RW2S	CF-R1RCXR/CF-R1RCXP/CF-R1RCHXP/CF-R1RCQXP/CF-R1RWXP/CF-R1RWHXP/CF-R1RWQXP/CF-R1RCXS/CF-R1RWXS
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional with Service Pack2（NTFSファイルシステム）、Microsoft® Windows® MediaPlayer 7.0、Microsoft® Internet Explorer 5.5 Service Pack 2	Microsoft® Windows® XP Professional（NTFS ファイルシステム）
ソフトウェア名	DMIビューアー ネットセレクター SDユーティリティ 電波状況モニターII Adobe® Acrobat® Reader インテル® SpeedStep™ テクノロジアプレット ORiNOCOクライアントマネージャ*1 WinRoute*1 H"INサインアップ*2 H"INユーティリティ*2	DMIビューアー ネットセレクター SDユーティリティ 電波状況モニターII Adobe® Acrobat® Reader H"INサインアップ*2 H"INユーティリティ*2 Panasonic PCオンラインメンバー登録*3 CN-Stage*3 各種プロバイダーオンラインサインナップ*3 Microsoft® Office XP PersonalとMicrosoft® Encarta® 百科事典 2002 Basic*4 Microsoft® Office XP ProfessionalとMicrosoft® Encarta® 百科事典 2002 Basic*5

＜CF-R1P シリーズの場合＞

機種名	CF-R1PCA2S/CF-R1PWA2S	CF-R1PCAXR/CF-R1PCAXP/CF-R1PCHXP/CF-R1PCQXP/CF-R1PWAXP/CF-R1PWHXP/CF-R1PWQXP/CF-R1PCAXS/CF-R1PWAXS/CF-R1PWJXP/CF-R1PWRXP
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional with Service Pack2（NTFSファイルシステム）、Microsoft® Windows® MediaPlayer 7.0、Microsoft® Internet Explorer 5.5 Service Pack 2、Security Rollup Package 1	Microsoft® Windows® XP Professional（NTFS ファイルシステム）
ソフトウェア名	DMIビューアー ネットセレクター SDユーティリティ ホイールパッドユーティリティ 電波状況モニターII Adobe® Acrobat® Reader インテル® SpeedStep™ テクノロジアプレット ORiNOCOクライアントマネージャ*1 WinRoute*1	DMIビューアー ネットセレクター SDユーティリティ ホイールパッドユーティリティ 電波状況モニターII Adobe® Acrobat® Reader Panasonic PCオンラインメンバー登録*3 CN-Stage*3 各種プロバイダーオンラインサインナップ*3 Microsoft® Office XP PersonalとMicrosoft® Encarta® 百科事典 2002 Basic*4 Microsoft® Office XP ProfessionalとMicrosoft® Encarta® 百科事典 2002 Basic*5 Microsoft® Outlook® Plus!*4*5

*1 無線LANモジュール内蔵モデルのみ
*2 H"INモジュール内蔵モデルのみ
*3 個人向けモデルのみ
*4 CF-R1RCHXP/CF-R1RWHXP/CF-R1PCHXP/CF-R1PWHXP/CF-R1PWJXPのみ
*5 CF-R1RCQXP/CF-R1RWQXP/CF-R1PCQXP/CF-R1PWQXP/CF-R1PWRXPのみ

＜CF-R1N シリーズの場合＞

機種名	CF-R1NCA2S/CF-R1NWA2S	CF-R1NCAXR/CF-R1NCAXP/CF-R1NCHXP CF-R1NCQXP/CF-R1NCAXS/CF-R1NDAXP CF-R1NDHXP/CF-R1NDQXP/CF-R1NVAXP CF-R1NVHXP/CF-R1NVQXP/CF-R1NWAXP CF-R1NWHXP/CF-R1NWQXP/CF-R1NWAXS
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional with Service Pack 2（NTFSファイルシステム）、Microsoft® Windows® MediaPlayer 7.0、Microsoft® Internet Explorer 5.5、Direct X 8.1、Security Rollup Package 1	Microsoft® Windows® XP Professional（NTFS ファイルシステム）with Service Pack 1
ソフトウェア名	DMIビューアー ネットセレクター SDユーティリティ ホイールパッドユーティリティ Adobe® Acrobat® Reader インテル® SpeedStep™ テクノロジアプレット クライアントマネージャ*1 ハードディスク消去ユーティリティ*5	DMIビューアー ネットセレクター SDユーティリティ ホイールパッドユーティリティ Adobe® Acrobat® Reader Panasonic PCオンラインメンバー登録*2 CN-Stage*2 各種プロバイダーオンラインサインナップ*2 Microsoft® Office XP PersonalとMicrosoft® Encarta® 百科事典 2002 Basic*3 Microsoft® Office XP ProfessionalとMicrosoft® Encarta® 百科事典 2002 Basic*4 Microsoft® Outlook® Plus! Version 2.0*3 ハードディスク消去ユーティリティ*5

*1 無線LANモジュール内蔵モデルのみ
*2 個人向けモデルのみ
*3 CF-R1NCHXP/CF-R1NDHXP/CF-R1NWHXP/CF-R1NVHXPのみ
*4 CF-R1NCQXP/CF-R1NDQXP/CF-R1NWQXP/CF-R1NVQXPのみ
*5 セットアップユーティリティから実行するユーティリティ

● 無線 LAN モジュール ＜無線 LAN モジュール内蔵モデル＞

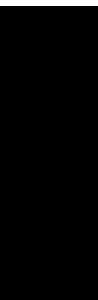
データ転送速度	11 Mbps/5.5 Mbps/2 Mbps/1 Mbps（自動切替）*6
準拠規格	ARIB STD-T66（小電力データ通信システム規格） IEEE802.11b（無線 LAN 標準プロトコル）
伝送方式	DS-SS 方式
伝送距離	見通し約50 m（アクセスポイントとの通信時）*7
使用無線チャンネル	1〜11チャンネル
RF 周波数帯域	2.4 GHz帯全域（2.4 GHz〜2.4835 GHz）

*6 IEEE802.11b規格による速度であり、実効速度とは異なります。
*7 通信距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフトウェア、OSなどの使用条件によって異なります。

● 個人向けネット販売モデル（機種品番の末尾に「P」がついているモデル　例：CF-R1RCXPなど）について

ご購入時に選択されたオプション（以下）により、一部仕様が異なります。

・無線モジュール（無線LANモジュール内蔵、H"INモジュール内蔵*8、なしのいずれか）
・搭載メモリー

*8 CF-R1Rシリーズのみ

保証とアフターサービス

別紙の『ご使用の前に』をご覧ください。

・本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
・落丁、乱丁はお取り替えします。
・本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
・本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
・漏洩電流について、この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

＜無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ＞

日本国内で無線 LAN モジュールをお使いになる場合のお願い

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（たとえばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

2. 4D S4

この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2400 から 2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式の無線装置で、干渉距離が約 40 m であることを意味します。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

愛情点検 長年ご使用のコンピューターの点検を！

こんな症状はありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った	▶	このような症状の時は故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグとバッテリーパックを抜いて、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　月　日	品 番*	
販売店名	☎(　　)　－	お近くの当社 ご相談センター ☎(　　)　－	

* 保証書に記載されている品番(例：CF-R1RCXR)を記入してください。

松下電器産業株式会社 ITプロダクツ事業部

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

FJ0902-0
DFQM5490YA